

## 第2学年「みがく」学習活動案

授業者 下田 愛佳里

2月16日(金) 2階C室 10:00~10:40 (話し合い11:00~11:45)

### 1 活動名 思いに近づく

### 2 活動について

子どもたちは1年生の時から、学校の中で、自分たちのプロジェクトの活動のまとめとして、おまつりという形で、他者(他クラスや保護者)に開く経験を重ねてきた。その中で、自分の参加したお祭りとおまつりと重ね合わせ、きた人が楽しいと思うような工夫をしてきている。例えばきた人におまけを渡したり、体験してもらったりと行った活動もそうした子どもたちの経験が影響していると考えられる。そうした経験を積み重ねることで、自分の経験だけではなく、友だちの取り組みを自分たちの活動にも取り入れてみるなど、学校の外の経験だけでなく、学校の中で行われる取り組みも子どもたちの中で影響し、そしてそれがまた広がったり、融合したりしながら、子どもたちの活動は日々更新されて続けている。更新され続けていくには、自分たちの活動を継続的に他者に伝える場こそがとても重要である。子どもたちの様子を見ながら、1学期は記録を書くこと、2学期は対話することに重きを置き、他者に伝える場を意識して活動を進めてきた。その中でも、特に対話を行なっていくことにより、それぞれの活動への思いが明確になっていったり、クラス全体で困っていること考えていったりなど、対話することによってそれぞれの思いに少しずつ近づいているように思う。自由度の高いプロジェクト活動だからこそ、クラスの中で話し合いながら、自分たちの活動について振り返ることにより、活動の内容もより高まってきたと考えられる。

3学期の活動でも、子どもの思いを大切にしながら、2学期よりもステップアップできるように子どもと共に対話をしながら活動を進めている。その対話の場を大切にしながら、それぞれがやりたいことについて向き合える時間をしていきたい。

### 3 学習活動計画(23時間目/全38時間)

- (1) 3学期のプロジェクトを決める・・・6時間
- (2) グループごとにプロジェクトに取り組む(対話する)・・・23時間(5時間)
- (3) まとめの発表会を行う・・・4時間

### 4 本時の活動について

#### (1) 本時のねらい

- ・対話を通して、プロジェクト活動におけるそれぞれの課題に、それぞれの思いに寄り添いながらみんなで考える。

#### (2) 予想される本時の展開 (枠組みの中のみポイントを下げてもよい)

| 主な学習活動と子どもの姿  | 留意点  |
|---|--|
| 1 プロジェクトごとの活動する   | ・子どもたちで進める   |
| 2 プロジェクトサークルで今日の振り返りをする<br>(いくつかのグループが発表する)<br>質問をし、答える | ・活動がうまくいっていないグループはみんなからアドバイスをもらったり、うまくいっているグループは、他のグループも真似できる点に気づかせる |
| 3 次回に向けての確認   |  |

授業後の話し合いで話題にしたいこと(話し合いがある授業のみ)

プロジェクト型の活動の取り組みについて